

5月16日 風とせせらぎの森林 ～きんたろう倶楽部の活動～

【富山森林管理署】

令和8年5月16日（土曜日）、富山市大沢野国有林において、NPO法人きんたろう倶楽部による森林整備が行われ、富山森林管理署職員4名が協働で竹の除去作業を行いました。

この取組は、平成22年に社会貢献の森として協定を結んでいる「風とせせらぎの森林（富山市稲代）」において今日まで継続されている活動です。

大沢野地域は古くから山からの吹きおろしなど、強風が吹きやすい地域として知られており、大沢野国有林も風害を防止する防風保安林に指定されています。



繁茂した竹の伐採



粉碎した竹を林内へ散布

当日は、国有林において、防風機能の維持・向上を図るため、林内に侵入している竹をノコギリで伐採しました。作業ではノコギリを用いて竹を一本ずつ丁寧に伐採し、過密となっていた林内の整理を行うことで、見通しの良い林内環境づくりに取り組みました。

竹の繁茂を抑制することで、樹木の健全な生育を促進し、森林本来の防風機能の維持・向上につなげています。また、林内の見通しを改善することにより、近年市街地へも出没が報告されているサルやクマ等の野生鳥獣の生息空間を軽減させることにより、被害を防止する効果も期待されています。

今後も地域の安全・安心の確保と森林の公益的機能の発揮に向け、適切な森林整備を継続してまいります。



Before(作業前)



After(作業後)